前進座 85周年 特別公演

東日本大震災・熊本大分・鳥取地震　復興支援企画

広がれ協同　結ぼう絆　備えよ震災

当日ロビーにて
震災復興支援・防災企画実施

怒る富士

（いかるふじ）

新田次郎＝原作　田島栄＝脚色　十島英明＝演出

黄金の稲穂のかなたに
仰ぎ見る　富士の姿は
どんなにか　美しかろう…

伊奈半左衛門
嵐圭史

後援：日本協同組合連絡協議会、日本医療福祉生活協同組合連合会、香川県、高松市、東かがわ市、さぬき市、三木町
高松市コミュニティー協議会連合会、高松市自主防災組織連絡協議会
香川県農業協同組合中央会、農民運動香川県連合会
香川県社会福祉協議会、香川県生活協同組合連合会
香川県老人クラブ連合会、高松市老人クラブ連合会、
香川県高齢者生活協同組合、香川県高齢者生活協同組合、
四国新聞社、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送
テレビせとうち、ケーブルメディア四国

2017年2月15日（水）

昼開演　13：30～（開場13時）
夜開演　18：00～（開場17時30分）

会場　三木町文化交流プラザ大ホール
※会場地図　裏面参照ください。

観覧料　座席エリア指定
S席 6,000円　A席 5,000円

主催　「怒る富士を成功させる100人サポーターの会」
代表　香川医療生協理事長　藤原高明氏　　共同代表　三木町長　筒井敏行氏

チケットなど
お問い合わせ先
お取り扱い先
コープかがわ全店舗、香川県庁生協、高松市役所生協、高松平和病院・高松協同病院・善通寺診療所・コープ歯科まるがめ【以下の生協事務所】
本部：087-812-6301　組合員活動部：087-833-8115
東センター：087-812-5331　南センター：087-888-7172　東讃（みき診療所）：087-891-0303　中西讃センター：0877-85-8731

チケット郵送　お問い合わせ・依頼受付　TEL087-812-6301　090-9771-5487まで

おせん
江林智施

折井浚路守
松涛喜八郎

奥村与五右衛門
柳生啓介

おはる
小林祥子

間部越前守
河原崎國太郎

綠子
妻倉和子

大久保加賀守
益城宏

おそめ
前園恵子

伊奈半左衛門
嵐圭史

中山出雲守
清雁寺繁盛

おぬい
秋元辰美

富三郎
松浦海之介

おまつ
今井鞠子

つる
平澤愛

文吉
新村宗二郎

佐太郎
藤井偉策

野口久馬
寺田昌樹

こと
上沢美咲

能勢権兵衛
伊藤哲哉
（助演）

河野勘右衛門
姉川新之輔

永田茂左衛門
山崎辰三郎

萩原近江守
武井茂

新井白石
志村智雄

怒る富士（いかるふじ）

これは、時の幕府の棄民政策に喘ぐ富士山麓・五十九ヶ村の農民たちと、彼らを守ろうとその復興に命を賭した関東郡代・伊奈半左衛門との、真実のものがたりである。

【メインスタッフ】
◆原　作――新田次郎
◆脚　色――田島　栄
◆演　出――十島英明
◆美　術――品川洋一
◆照　明――寺田義雄
◆音　楽――菅野光亮
◆効　果――田村　恵
◆振　付――藤間多寿

【あらすじ】

五代将軍綱吉の世。宝永4（1707）年11月23日（旧暦）、富士が火を噴いた。山麓の村々は焼け砂に埋まり、田畑は壊滅したのである。幕府は急遽、関東郡代・伊奈半左衛門に被災地代官を命じた。だが、幕閣たちは醜い派閥抗争に明け暮れていた。

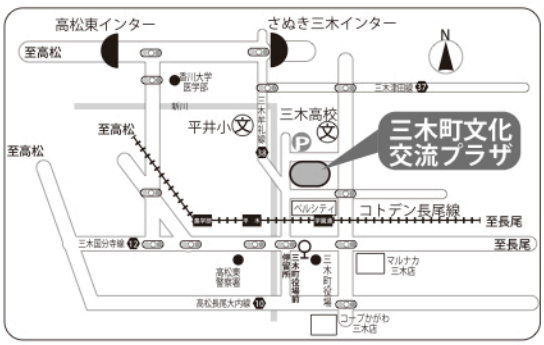
ある日、半左衛門の陣屋に深沢村の若者・佐太郎、ことら4人が訪れた。「食する物は何もなく、鳥さえも去っていった……」彼らは命がけで村の窮状を訴えたのであった。

半左衛門は被災地に急行し農民を励ます。「お上は決して民を見捨てはしない――」と。

だが幕府の裁定は亡所（ぼうしょ）であった。村々では飢えに倒れる者や故郷を捨てる者が相次ぐ。

将軍が代わり実権は柳沢吉保（やなぎさわよしやす）から間部越前守（まなべえちぜんのかみ）に移るが、誰一人として富士山麓に目を向けようとはしなかった。半左衛門は己の命を懸けて公儀に異を唱える決心をする。そして、その義心に心動かされた駿府代官・能勢（のせ）権兵衛（ごんべえ）は……

会場案内図



アクセス

電車でお越しの方　琴電長尾線「学園通り」駅下車　徒歩2分
バスでお越しの方　引田線「三木町役場前」下車　徒歩5分
高速道路等をご利用の方　無料駐車場360台

徳島方面の方　さぬき三木インターで下り、左折し直進（約7分）
愛媛方面の方　さぬき三木インターで下りることはできません。
◆高松東インターで下り側道を直進し、
さぬき三木インター入口の信号右折し、直進してください。（約12分）